

# スターウィーク期間中の 伝統的七夕を楽しもう



天空が広がるうぶやまの高原では梅雨も明け、くっきり晴れた星空が楽しめます。梅雨明けのギラギラした太陽が照りつけ日中の気温は高めですが、夜半は高地のため気温は低くなります。

今回のイベントは、8月4日の太陽太陰暦(いわゆる旧暦)の7月7日にちなんだ七夕です。これを「伝統的な七夕」と呼んでいます。天気の安定したこの時期の8月1日～7日までの一週間をスターウィークとして、星空に親しむ期間としています。これは2001年から国立天文台が提唱しているものです。今年のテーマは「あなたと同じ星が見えたら、しあわせ」です。これに合わせ、全国の公開天文台で観察会が開かれています。

今年のスターウィークは珍しく「伝統的な七夕」が入っています。この期間は、20時～22時ころ、天の川やその付近にある夏の大三角などがちょうど頭上に見え、夜空が暗い所では素晴らしい光景が楽しめます。土星が8月15日に、木星が9月27日に衝(外惑星が太陽の反対側にくる瞬間:真夜中に南中し見頃になる)になりますので、これらの2大惑星が、夏の終わりから秋にかけて見頃になります。

うぶやまの星空は、月が無いときは、私たちの見える極限の6等星や、天の川の濃淡まではっきり分かります。ただし、この4日は上弦の月の1日前なので、月の明かりで天の川は消されていますが、「伝統的な七夕」の星々はくっきり見えます。

夏の厳しい暑さを忘れて、涼しいうぶやまの高原で、村の中学生も自慢するうぶやまの素晴らしい星空を楽しみませんか。

期 日：	令和4年8月4日(木)
時 間：	20時00分～23時00分
場 所：	うぶやま天文台 (熊本県阿蘇郡産山村大字大利585 ファームビレッジ産山内)
観察対象：	次ページに掲載
持 参 物：	星座早見盤(一般参加者で持ってない人には当日配布します)
料 金：	村内の方・・・無 料 村外の方・・・高校生以上：300円 小中学生 200円 未就学児 : 無 料

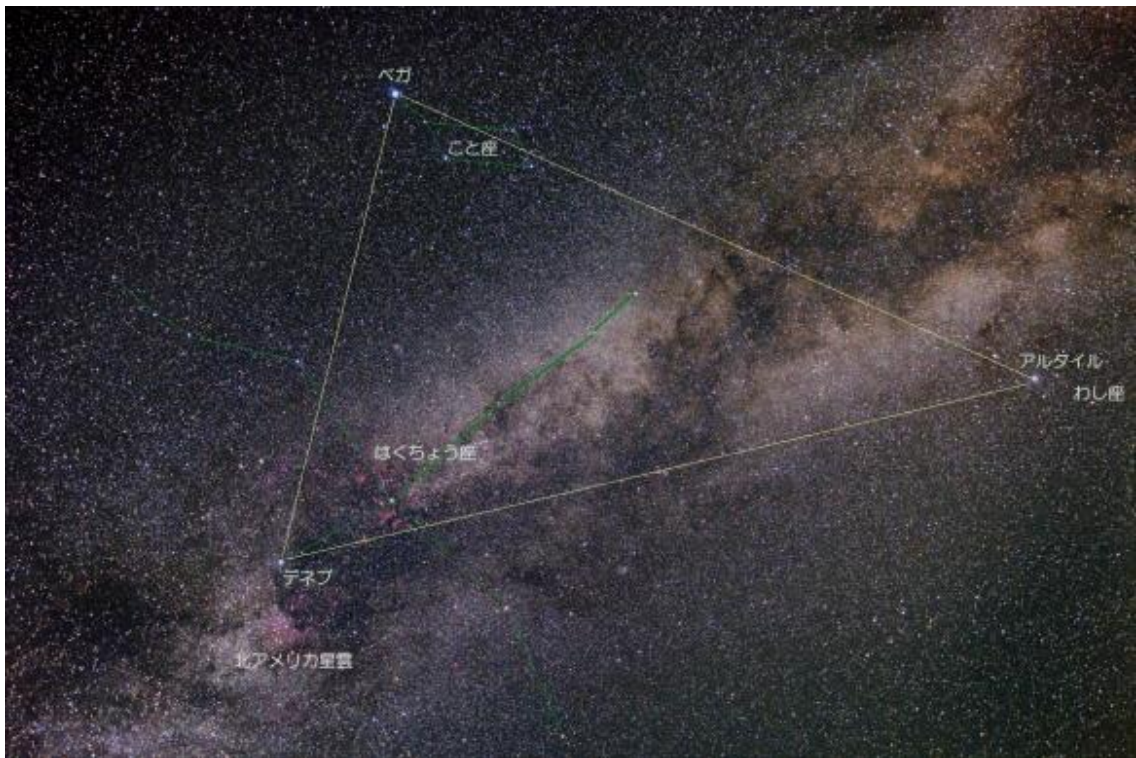
※密を避ける観点から、予約状況によってはお断りする場合がございます。あらかじめご了承ください。  
天候不良などで実施できない場合は延期します。その場合は、延期日を再度お知らせ端末にて連絡します。  
上記につきまして産山村外の方は、産山村教育委員会(0967-25-2214)までご連絡下さい。

## 【ご来館予定の皆様へ】

新型コロナウイルス感染症防止対策のため、ご来館前及びご来館の際は、下記の事項をお守りいただきますようお願いいたします。

- 新型コロナウイルス感染者との濃厚接触が判明している場合や、その恐れがある場合は、来館できません。
- 咳や発熱などの症状がある場合は、来館できません。
- マスクや手洗いなど、各自で十分な防護策をお取りください。

# 今回の観察対象



夏の天の川と夏の大三角



こと座のドーナツ星雲(M57)



ヘラクレス座の球状星団(M13)



最新の土星